

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2018-181518 (P2018-181518A)  
【公開日】平成 30 年 11 月 15 日 (2018.11.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2018-044  
【出願番号】特願 2017-76928 (P2017-76928)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 9/00 (2006.01)

H 0 1 R 13/52 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 9/00 B

H 0 1 R 13/52 B

【手続補正書】  
【提出日】令和 1 年 7 月 16 日 (2019.7.16)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【0 0 3 2】

そして、栓体 4 0 は、リング部 7 3 が挿通孔 2 9 の孔縁部 2 9 A とボス部 5 5 の上面に当たることによってカバープレート 2 0 の裏面（後面）から落下することが阻止される。また、カバープレート 2 0 は、ボス部 5 5 の軸線方向に沿って移動可能に取り付けられた状態となる。また、ボス部 5 5 と挿通孔 2 9 との間、並びに位置決めピン 5 7 とピン挿通孔 3 1 との間にはクリアランスが設けられていることで、栓体 4 0 は上下左右の全方位において移動可能な状態で保持されることになる。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 5  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 4 5】

（ 8 ）上記実施形態では、嵌合部 4 1 よりも外形寸法が大きい平板部 5 1 が設けられていたが、平板部の外形寸法は、嵌合部 4 1 と同じ寸法もしくは小さい寸法となっても良い。栓体の上面の下端位置が、開口部 9 1 の上端面よりも上方に位置するようになっていれば良い。